

## 100歳をお祝い

### 町から記念品を贈呈



▲ 100歳を記念し、記念撮影(岸本さん宅にて)

「敬老の日」を前にした九月十一日、今年度、満百歳をお迎えになる方のお宅を岩田町長が訪問し、祝い状や記念品を贈り長寿を祝福しました。

今年度、満百歳をお迎えになるのは、加納アキ子さん(三成)、渡部マサコさん(上阿井)、板倉八ナさん(上阿井)、長谷川タカノさん(上阿井)、佐々木アキさん(三沢)、岸本クラさん(八川)、荒川小雪さん(亀嵩)、陶山貞子さん(三成)、安田八重さん(横田)、前田は津さん(中村)の十一名でこの内八名の方を当日訪問しました。

また同行した永田雲南保健所総務保健部長からは、内閣総理大臣からの祝詞と銀杯、県知事からのお祝いの書状と記念品が贈られました。

皆さんはともにお元氣そうで、楽しく歓談されていました。

この事業は、敬老事業の一環として行われており、町では米寿と白寿の方にも記念品をお贈りしています。

本町の九月一日現在の高齢者数は五千四百五十人で、高齢化率は三十三・八割となっています。

## 黄金色の収穫

### 一味同心塾で稲刈り体験交流

昔ながらの米づくりを体験しようとして中村成子先生が館長を務める一味同心塾の田んぼで九月二十三日、稲刈り体験交流が行われました。

地元の方で構成する仁多米づくり実行委員会による五月の田植えに続く体験交流となった今回は、町内はもとより東京都、海士町等からも参加者があり約七十人が集まりました。

この田んぼで収穫される稲は、皆が心を込め大切に育て

ており、中村先生が「稲のはな」と命名されています。

参加者は地元の方から鎌の使い方を習いながら手刈りを体験し、刈った稲をハデに掛け心地よい汗を流しました。

今年、長雨の影響で稲の生育が心配されましたが、収穫は上々。

約二時間後には収穫された稲がきれいにハデに掛けられ、秋晴れのなか黄金色に輝いていました。

### 島根県立女子短期大学の地域探検隊 来町

九月二十六日から二十八日にかけて、島根県立女子短期大学の学生二十九人が奥出雲町を訪れました。

同短期大学では、農業体験を通じて地域の暮らしを肌で感じ、生きていくための力を身につける「地域探検学」の講義を実施しており、本年も(小泉八雲のひ孫に当たる小泉凡先生等が引率され)昨年続き本町での実施となりました。



▲ 農業体験をする短大生

今年の研修では、加工グループの協力により手作り弁当や郷土料理の実習、町内農家での農業体験、そば打ち、そろばんの製作工程の見学等を行いました。

また「一味同心塾」では中村先生から身近なお弁当を例に「日本の食文化」についての講話を聞き、最後にもちつき体験を行いました。

多くの学生が農業は初めてでしたが、持ち前の若さで最後まで頑張っていました。

参加した学生からは、「自然との距離が近く、貴重な経験となりました」、「初めての経験が多く大変でしたが、少しでも農業のことが分かりました」等の感想がありました。



▶ ハデ掛けをする参加者